

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成25年8月15日(2013.8.15)

【公表番号】特表2013-508860(P2013-508860A)

【公表日】平成25年3月7日(2013.3.7)

【年通号数】公開・登録公報2013-012

【出願番号】特願2012-535284(P2012-535284)

【国際特許分類】

**G 06 F 17/50 (2006.01)**

【F I】

G 06 F 17/50 606 F

G 06 F 17/50 614 A

G 06 F 17/50 626 A

【手続補正書】

【提出日】平成25年6月27日(2013.6.27)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

CADシステムにおいて、寸法決定されたオブジェクトモデルを作成する方法において

、  
CADシステム(100)によって、寸法情報(215, . . . , 225)を含んでいる2D CADデータを受信するステップ(605)と、

前記CADシステム(100)によって、前記2D CADデータに対応する3Dモデルを作成するステップ(615)であって、前記3Dモデル(450)を、前記CADデータにおける2D表現の複数の面を折り曲げる(610)ことによって作成するステップと、

3D寸法を作成するステップ(620)と、

前記3Dモデルの特徴に前記寸法情報を関連付けるステップ(630)と、

前記3Dモデル(550)及び前記関連付けられた寸法情報を前記CADシステム(100)に記憶するステップ(630)とを備えており、前記寸法情報は前記記憶後に、前記3Dモデルにおける相応の変更を自動的に生じさせるために編集可能であることを特徴とする、オブジェクトモデルを作成する方法。

【請求項2】

前記2D CADデータは、2D図面で表されているオブジェクトの複数のサイドビューである、請求項1に記載の方法。

【請求項3】

前記3Dモデルは3Dワイヤフレームジオメトリである、請求項1に記載の方法。

【請求項4】

2D図面及び寸法情報に対応するソリッドジオメトリの特徴を識別することによって、前記寸法情報を前記3Dモデルの特徴に関連付ける、請求項1に記載の方法。

【請求項5】

寸法決定されたオブジェクトモデルを作成するCADシステムにおいて、

寸法情報(215, . . . , 225)を含んでいる2D CADデータが受信され(605)、

前記 C A D データにおける 2 D 表現の複数の面を折り曲げる ( 6 1 0 ) ことによって前記 2 D C A D データに対応する 3 D モデルが作成され ( 6 1 5 ) 、

3 D 尺法が作成され ( 6 2 0 ) 、

前記 3 D モデルの特徴に前記寸法情報が関連付けられ ( 6 3 0 ) 、

前記 3 D モデル ( 5 5 0 ) 及び前記関連付けられた寸法情報が記憶され ( 6 3 0 ) 、前記寸法情報は前記記憶後に、前記 3 D モデルにおける相応の変更を自動的に生じさせるために編集可能であることを特徴とする、 C A D システム。

**【請求項 6】**

前記 2 D C A D データは、 2 D 図面で表されているオブジェクトの複数のサイドビューである、請求項 5 に記載の C A D システム。

**【請求項 7】**

前記 3 D モデルは 3 D ワイヤフレームジオメトリである、請求項 5 に記載の C A D システム。

**【請求項 8】**

2 D 図面及び寸法情報に対応するソリッドジオメトリの特徴を識別することによって、前記寸法情報が前記 3 D モデルの特徴に関連付けられる、請求項 5 に記載の C A D システム。

**【請求項 9】**

寸法決定されたオブジェクトモデルを作成する C A D システムのコンピュータのためのコンピュータプログラムであって、

前記コンピュータプログラムは前記コンピュータに下記ステップを実行させる、

寸法情報 ( 2 1 5 , . . . , 2 2 5 ) を含んでいる 2 D C A D データを受信するステップ ( 6 0 5 ) と、

前記 2 D C A D データに対応する 3 D モデルを作成するステップ ( 6 1 5 ) であって、前記 3 D モデル ( 4 5 0 ) を、前記 C A D データにおける 2 D 表現の複数の面を折り曲げる ( 6 1 0 ) ことによって作成するステップと、

3 D 尺法を作成するステップ ( 6 2 0 ) と、

前記 3 D モデルの特徴に前記寸法情報を関連付けるステップ ( 6 3 0 ) と、

前記 3 D モデル ( 5 5 0 ) 及び前記関連付けられた寸法情報を前記 C A D システム ( 1 0 0 ) に記憶するステップ ( 6 3 0 ) とを

実行させる、ただし、前記寸法情報は前記記憶後に、前記 3 D モデルにおける相応の変更を自動的に生じさせるために編集可能であることを特徴とする、コンピュータプログラム。

**【請求項 10】**

前記 2 D C A D データは、 2 D 図面で表されているオブジェクトの複数のサイドビューである、請求項 9 に記載のコンピュータプログラム。

**【請求項 11】**

前記 3 D モデルは 3 D ワイヤフレームジオメトリである、請求項 9 に記載のコンピュータプログラム。

**【請求項 12】**

2 D 図面及び寸法情報に対応するソリッドジオメトリの特徴を識別することによって、前記寸法情報を前記 3 D モデルの特徴に関連付ける、請求項 9 に記載のコンピュータプログラム。